

## スポーツ委員会 議事録 2014.05.17 Sat.

開催日 2014.05.17 土曜日 10:00 - 17:00  
開催場所 川崎市 ミューザ川崎 会議室1 研修室4  
参加者 飯盛委員長、牧氏、中口氏、竹澤氏、江田氏、野上(敬称略)

### バイバル計測器について

#### 水電池について

・重松さん いつも水電池を発注している会社がLEDで作成 350円  
・滝田さん 試作品 1000~1200円  
まず、どこかの大会で使ってみる  
コストについては常に把握

#### バイバル計測器のマニュアル・講習会について

マニュアル作成  
・佐賀大 井上氏、中村氏作成中  
・滝田氏のチェックをお願いします

#### バイバル計測器講習会

- ・佐賀ではパイロット協会の集会で可能
- ・関東などで集まれるタイミングはあるか？  
渡良瀬連絡会の安全セミナーでできるか、若松氏へ竹澤より確認
- ・講師は？  
関東は野上が覚えて、教える
- ・鈴鹿は？  
普段は使う機会はない。

#### バイバルの管理について

##### リストの作成の作成

・JBS 小笹さん 気球連盟の所有機材のリストを作成(野上)

##### 写真

##### 購入年

##### 使用制限

##### 保管場所

##### 昔の議事録を作成

WindBirdについては、竹澤氏が確認

シーズンのはじめぐらいに、バイバル管理表の重松さんとの突き合わせをする(野上)

##### 現状

JBS	TD-3
↑売却	
日本気球連盟	WindBird   TD-4
↓売却	
小笹氏	Wind Reader

#### バイバル計測器のニーズは？

他の大会での使用は実績は？  
公認以外ではあまり使われていない。  
公認大会については、飯盛氏がフォロー  
公認大会では無い大会は、メンバーでフォロー  
かぼちゃカップについては、飯盛氏がフォロー

機関誌等でフォローは？あまりユーザーに響かないのでは？主催者に直接連絡

### オブザーバーについて

#### オブザーバ講習会および登録について

現状、受講に年齢制限は無い。登録の年齢制限は16歳を暫定。

なぜ、登録に年齢制限が必要？

実際に事故などが発生した場合のリスク

それは、大会側が制限をつける。

大会側が年齢のチェックをする必要があるか？

主催者側の考えとしては、未成年の取り扱いが難しい。誓約書などで確認。

チーム出しのオブザーバーの観点は抜けているが、パイロットの責任。

親権者の承認があれば、16歳以下でも大丈夫なのでは？

パイロットの年齢制限は18歳だが、オブザーバーの年齢制限の意味は？

講師が断ることは、講師の判断

→受講に年齢制限は無い。登録の年齢制限は16歳(ガイドライン)

#### 規約の改正案 競技オブザーバー登録制度

##### 第3章 クラス分類および資格

3-1 競技オブザーバー登録制度では、オブザーバーを  
クラス A、クラス B、クラス C に分類する。

3-2 それぞれのクラスの資格は以下の通りとする。

1)クラス C は、以下の条件を満たさなければならない。

a)スポーツ委員会の主催・公認する初級オブザーバー  
講習会を受講すること。

b)登録時に、16歳以上であること。

##### 第4章 登録申請手順

4-1 クラス C は、初級講習会の受講履歴をもとに登録  
される。

受講履歴は残す

## 上級オブザーバー講習会

関東で行ってほしいという要望がある  
2014年 2015年 2016年に開催したい  
佐賀の龍野さんの講習会が過去に行われた  
GPSの誤差の話、ルール内容について、MMA、ロガータスク  
受講希望者からの要望は無い  
話してほしい内容などを募集中

## その他

大会でパイロットがオブザーバーを尊重するようこの意見があった。  
意識付けも含め、大会中にオブザーバーミーティングを行いたい(中級ミーティングのイメージ)  
海外、国内のオブザーバーのとらえ方や姿勢の差はある。  
オブザーバーのクラスA、Bのリストの公表、タスク数など、ベストオブザーバー  
公表の有無  
表彰される人が偏るのでは？  
年末アンケートをしてみるのも良いかも。  
事務局がリストを把握しているので、それに基づいて把握する  
大会の会場で案内を出す  
アンケートをする目的は？上級オブザーバー指向の調査、実態調査？  
安全委員会でやっているような、自動集計について調べる(野上)  
まずは、実態を調べる(年間実績、Aクラスへの希望、など)

## 記録飛行

### 表彰制度について

早く順位を連盟HPにアップしたい  
規定の書類を連盟HPにアップすると共に、連盟MLで連絡(飯盛氏)  
江田氏によりマーカの結果のベスト10の結果をリストアップ  
ロングフライトについて、江田氏確認(佐賀、渡良瀬、北海道)  
データ処理は野上  
記録飛行年間表彰規定の清書をする(野上)

## 日本選手権について

### 2015年について

佐久からの立候補があった。日本選手権の申請書類を出してもら(飯盛氏より依頼)  
足切りについて(ルーキーの考え方)  
スポーツ委員会としては、大会の考え方を尊重(安全上の配慮など)

### 2016年について

候補地の問題を考える  
NRSのみで決定されるという意見  
無理な開催は必要ないという意見  
別の仕組みで行うというチャンスでもあるという意見(スポーツ委員会として仕掛ける)

## ジュニア世界選手権

### 追加エントリーについて

井上氏のエントリーについて、スポーツ委員会で話し合う

## 学生選手権について

### 2013学生選手権について

江田氏より報告  
場所は遊水池会館2F、40人ぐらい、幹事:茨城大学  
酪農、広大、岩手は不参加  
保健の問題、パイロットのフライト時間の確保

安全委員会について、この情報を展開は？  
今回は情報を集めた、連盟のスタンスは？  
学生チームは、連盟への貴重な若い人材の供給源となっている  
このままではジリ貧になっていくので、連盟としてサポートできないか？  
学生からの具体的な意見があると、サポートもしやすい。  
学生の意見としては、連盟がなにをしているか、わからない。  
茨城大生は全員、連盟会員になったが、ばらつきがある

コアで活動している学生が、活動しやすくなるサポートを連盟ができれば。  
金銭の問題も大変だが、情報が足りない、エリアの情報、競技への関わり(クルーで参加したい)  
学生係はまだ、上手くできていないが、今後上手くいきそう

学生が差し支えなければ、オブザーバーとして、学生総会に参加してみる  
連盟に関わっていききたい学生を誘っていききたい

## 世界選手権について

### 2014世界選手権について

竹澤氏よりFAIとCIAの関係について説明

以上